

児童生徒の「主体的な学び」を促す授業実践

1 基本情報

◇各教科等 保健体育科

◇学部・学年 中学部 第3学年

◇単元名 器械運動Ⅲ－②

◇単元の目標 ・ルールを守り、能力に応じて課題に取り組み、身に付けた技の精度を高めると共に、技を構成して演技を行うことができる。
・よい演技を讃え、仲間と協力して安全に活動できる。

◇付けたい力 思考力・判断力・表現力、主体的な態度

◇本時の目標 ・自分が決めた動きを取り入れ、発表会に向け技の精度を高めることができる。
・他の人の演技を見て、よい演技を讃えることができる。

◇生徒の実態 それぞれの生徒が、コミュニケーションや身体を動かすこと、持久力などに課題があり、繰り返しや手順表の活用などの工夫が必要である。どの生徒も、保健体育の授業では、授業の始まりの走る、歩く、ラジオ体操、本時のメインの活動という繰り返し行っている授業の流れを把握し、活動内容を分かりやすく伝え、スムーズに活動することができる。

2 期待する児童生徒の姿

十分に楽しみ体を動かし、仲間と協力して活動する。

自分が得意なことや挑戦したいことを選択、決定し、主体的に活動する。

3 指導者が捉えた児童生徒の「主体的な学び」

用具の配置や運動の順番をイメージしたり把握したりすることにつなげるため、用具の準備を生徒が行う場を設定した。授業を繰り返すうちに、必要な用具を覚え準備をしようとする生徒がいた。また、生徒それぞれが、自分が得意な動きや挑戦したい動きを選択、決定して演技を構成し、最後に発表会を行いクラスメイトが見守る中で運動するという設定にした。得意な動きや、やってみたい動きをカードの中から選択し練習し、見ている人を意識しながら運動することができるようになった。

自己評価だけでなく、演技カードに印やメモを記入していく相互評価も取り入れたが、クラスメイトの演技を見て演技カードに記入するという活動の流れも繰り返すことで理解して行うことができ始めた。相互評価については、この単元だけでなく、いろいろな場面で繰り返し取り組むことで定着を目指していきたい。